



おにつかこずえ (あすたま・維新)

1. 望まない妊娠。この問題は女性だけの問題でしょうか？
2. 給食について

問 望まない妊娠について、市の相談窓口はどこか？

答 本市における相談窓口は健康推進課であり、東京都の妊娠相談ほっとラインとの連携を行っている。母子手帳交付時にも、ゆりかごTAMA(妊婦面接)時も相談を受け支援を行っている。

問 給食の時間が短いと聞くと、配膳から片付けまでで何分かかかるのか。

答 小学校では40分前後、中学校は30分前後である。新1年生は比較的時間がかかるが、配膳に慣れてくれば効率良く準備出来るものと考えている。

問 食育は行われないのか。

答 他の授業の時間に、よく噛むなどの食べ方の指導を行っている。

問 学校給食の無償化について伺う。

答 今後示される、都の公立学校給食費負担事業の内容や経常経費などへの影響を精査し前向きに進める。



池田けい子 (公明党)

1. 障がい者を守り、トラブル解消を
2. “ペットは家族”住宅問題・防災の視点から考える

問 精神保健に課題を抱える方に関する支援状況、及び現在の課題について伺う。

答 介入困難な場合がある。重層的支援体制整備事業や、関係機関と連携し対応していく必要があると考える。

問 地域における総合的な相談支援の中核的な役割を担う機関「基幹相談支援センター」の早期設置を要望するが、検討状況を伺う。

答 令和8年の設置に向け具体的な検討を進めていく。

問 「避難所動物救護マニュアル」や「ペットのための防災手帳」などの作成、及びペット同行避難・同伴避難に特化した訓練が必要と考えるがどうか。

答 訓練を重ねていく中で課題を洗い出し、ペット避難のあり方を整理していく。

問 社会的支援が必要な飼育者を見守り、支援するために関係者が連携し情報共有する場の設置(会議体)が必要と考えるが、見解を伺う。

答 関係者が連携し、情報共有できるよう実施する。



あらたに隆見 (公明党)

1. DXの推進状況について
2. 福祉政策を担う財政援助団体との取組みについて

問 いつでも、誰でも、どこでもつながる^{オープンローミング}OpenRoamingの特徴とどこに設置しようとしているのか伺う。

答 安全性が高く一度設定すればいろいろな施設で使える。公民館・コミセン・図書館などに設置予定である。

問 DXの取組みも所管の枠を超え、制度や従来の組織文化などの既成概念を取払い活用するべきではないか。

答 DXの推進はデジタル化だけではなく、改革も必要と考えている。既成概念にとらわれない改革を進めていく。

問 多摩社協の賛助会員が4年間で1333人と大幅に減っているが、市としてはどのように受け止めているのか。

答 理由としては自治会員の減少やコロナ以降対面での集金が出来なくなったことがあげられるが、今後、様々な対策が必要と考えている。

多摩社協 会員募集中!

問 市役所建替え、総合福祉センターの更新を行う前に、社協を含めて将来の福祉サービスの拠点として、どうあるべきか改めて検討すべきではないか。

答 大事な点と捉え、関係各課と相談していく。



本間としえ (公明党)

今こそ平和な未来へのリーダーシップを

問 多摩市の核兵器廃絶と世界恒久平和への考えを伺う。

答 核兵器禁止条約への早期批准、せめて締約国会議へのオブザーバー参加を政府に求めている。

問 多摩市平和展と被爆地派遣事業の今後の展開を伺う。

答 歴代派遣員が平和展での企画を考える取組みに着手し、今後の平和展の企画につなげていきたい。

問 被爆地派遣員増員と大学生同行の継続が可能か。

答 増員を検討し、大学生同行は必要に応じて調整する。

問 恵泉女学園大学の平和紙芝居サークルKPKA(クプカ)による、平和を学ぶ出前授業の認識を伺う。

答 出前授業の効果的な活用について校長会で周知する。

問 平和教育の人材育成は大切で、教員と被爆地歴代派遣員や大学生クプカとのワークショップを持てないか。

答 体験的な教員研修は有効、取り入れることを検討する。

問 国際交流を通して平和への想いを、外国ルーツの方々と共有する企画を求めるがどうか。

答 今後どのように取組んでいけるか検討する。

